

- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2022年1月20日配本</b> 定価2420円(本体2200円+税) マリ=ジョゼ・モンザン 著/澤田直、黒木秀房 訳 <b>イメージは殺すことができるか</b> ★★ ネットやSNS、エンターテインメント上に犯罪やテロなどの暴力的映像が氾濫する現代。しかし、悪しきイメージの魅惑が、見る者に現実の暴力や殺人行為への欲望を引き起こさせるという俗説は真実なのか。まなざしとイメージ、芸術作品とプロパガンダとの関係を、受肉・一体化・化身などの概念を通じて分析し、現代世界においてイメージが要請する距離の必要を説く。イメージの哲学者モンザン初の邦訳書。 ☆関連書: G. ディディ=ユベルマン『イメージの前で』、J. ランシエール『感性的なもののパルターージュ』(小局刊)ほか。	四六判上製・142頁 《叢書・ユニベルシタス 1139》 ISBN978-4-588-01139-9 C1310
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2022年1月25日配本</b> 定価3080円(本体2800円+税) ハリー・コリンズ+ロバート・エヴァンス 著/鈴木俊洋 訳 <b>民主主義にとって科学が必要な理由</b> ★★ 科学は様々な攻撃を受けている。コロナ感染対策、ワクチン接種、気候変動、原発再稼働、学術会議任命拒否など。真理を見ない分析、科学を生態学的災厄の道具とみなす批判、経済的観点だけで価値を考える政治体制に対して、民主主義社会は政策決定を受け入れやすくする目的で科学を無視したり、科学の主張を曲解してはならない。その理由を、科学論・専門知論の第一人者が、具体的な事例によって丁寧に説明する。【社会・科学】 ☆関連書: コリンズ『我々みんなが科学の専門家なのか?』(小局刊)、コリンズ+エヴァンス『専門知を再考する』(名古屋大学出版会)。	四六判上製・278頁 《叢書・ユニベルシタス 1140》 ISBN978-4-588-01140-5 C1330
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2022年1月20日配本</b> 定価6600円(本体6000円+税) 渡名喜庸哲、杉村靖彦、長坂真澄 編 <b>個と普遍</b> レヴィナス哲学の新たな広がり 20世紀の倫理学に根源的な転回をもたらしたレヴィナス。そのいまだ汲み尽くされざる可能性について、東方/東洋の伝統思想やユダヤ思想史からの視点、ケアや医療分野での応用、現代哲学からの新たな解釈という全3部からアプローチした国際シンポジウムの記録。仏、米、澳やイスラエル、韓国など海外の研究者、日本のベテランから若手まで総勢20名による多彩な論考が、これからの倫理の扉をひらく。 ☆関連書: 渡名喜庸哲、藤岡俊博、三浦直希訳『レヴィナス著作集』既刊全3巻(小局刊)。	A5判上製・426頁 ISBN978-4-588-15122-4 C3010
-------	----	---	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2021年12月9日配本</b> 定価4180円(本体3800円+税) H.-G. ガダマー 著/轡田収、三浦國泰、巻田悦郎 訳 <b>真理と方法Ⅲ</b> 〈新装版〉哲学的解釈学の大綱 西洋哲学史の伝統に根ざし、テキストの理解および世界認識の方法を独自の解釈学として深化させたガダマーの名著。歴史解釈における経験の媒体であり存在論の地平でもある〈言語〉に光を当てた第三部に、「解釈学と歴史主義」論文および「原著第三版あとがき」を併録。ディルタイやハイデガーの問題を受け継ぎ、20世紀後半の人文社会科学に画期をなした名著の邦訳、待望の完結。 ☆関連書:	四六判上製・334頁 《叢書・ユニベルシタス 177》 ISBN978-4-588-14065-5 C1310
-------	----	---	---

好評2刷!!

部数	法政大学出版局 <b>2021年11月末重版出来</b> 定価4180円(本体3800円+税) H.-G. ガダマー 著/轡田収、麻生建、三島憲一、北川東子、我田広之、大石紀一郎 訳 <b>真理と方法Ⅰ</b> 〈新装版〉哲学的解釈学の大綱 近代の科学的方法思考によって覆い隠されているもの、あるいは忘却されつつある西欧古代からの伝統を呼び起こしてその意識化を試み、科学的方法では検証し得ない〈人間の世界経験全体にかかわる〉真理と認識、伝統と理解を根源的に問うたガダマー哲学の真髄。 ☆関連書:	四六判上製・328頁 《叢書・ユニベルシタス 175》 ISBN978-4-588-09965-6 C1310
----	---	---

好評2刷!!

部数	法政大学出版局 <b>2021年11月末重版出来</b> 定価4620円(本体4200円+税) H.-G. ガダマー 著/轡田収、巻田悦郎 訳 <b>真理と方法Ⅱ</b> 〈新装版〉哲学的解釈学の大綱 哲学的解釈学によって現代思想界に多大な影響を与えたガダマーの名著の第Ⅱ巻。近代の科学的方法思考によって覆い隠されているものあるいは見誤られてきた事柄を指摘し、意識化することを課題にした〈哲学的解釈学〉の、その核心が示される「第二部」の展開。シュライアーマッハー心理学、ディルタイの歴史意識、フッサール現象学、ハイデガーらが解釈学的見解から論及・分析される。 ☆関連書:	四六判上製・422頁 《叢書・ユニベルシタス 176》 ISBN978-4-588-14018-1 C1310
----	---	---

ご担当者様 氏名: [ ] 担当ジャンル: [ ] TEL: [ ]

\* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。  
 \* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。